

令和4年度多職種連携事例検討会「シン・ケアラボ@きたかみ」

実施要領

1 目的

介護支援専門員の自立支援型ケアマネジメントの実践力向上と、医療・介護・福祉・保健・行政、そして民間のインフォーマルサービスを含めた地域包括支援ネットワークの構築を目指し、平成29年度にスタートした「ケアラボ@きたかみ（多職種連携事例検討会）」は5年間で22回開催した。その間、各専門職等の顔の見える関係づくりを進め、様々な課題も共有することができた。

それらの活動成果を土台として、令和4年度からは「北上市在宅医療介護連携支援センター」を主催とする「シン・ケアラボ@きたかみ」として新たに開催する。基本的なスタンスはこれまでと同じく、立場の異なる組織・個人が、社会課題の解決に対して個別に取り組むのではなく、「きたかみ型地域包括ケアビジョン」という同じ目標を共有し、組織の壁を越えて互いの強みを出し合い、北上市の地域課題解決とネットワークの推進を目指すこととするものである。

2 目指す3つの場

- (1) 人材のネットワークと仕事の幅を広げる場
- (2) 多職種が他職種と相互に補完し合い、日常的に対話ができる場
- (3) 参加する多職種がオーナーシップ（「私たちの居場所」という気持ち）を持てる場

3 令和4年度の共通テーマ

みんなで考える「重層的支援体制」のすがた

4 主催・共催・運営主体

- (1) 主催：北上市在宅医療介護連携支援センター「在宅きたかみ」
- (2) 共催：北上市
- (3) 運営主体：シン・ケアラボ@きたかみ運営委員会（多職種の合議体）

5 開催期日

第1回：令和4年12月7日（水）18:30～20:30

第2回：令和5年3月予定

6 会場

第1回：北上市保健・子育て支援複合施設「hoKko」ふれあいホール（全室）

第2回：未定（hoKkoは2/1～3/15まで使用不可のため）

7 参加対象者

医療・介護・福祉・保健に携わる専門職、NPO法人、民間企業、行政職等

8 定員

新型コロナウイルス感染症の状況を確認しつつ、今年度は50名程度までを目途とする。

9 実施方法等

- (1) 「事例検討方式」(グループワーク)を基本として、運営委員会委員がコーディネーターやアドバイザーとして参画するほか、事例検討に関係するゲストを招へいする場合がある。
- (2) 個別事例の課題解決に焦点を絞らず、職種による視点の違いや各専門性を相互に知る機会とする。
- (3) 今年度のテーマである「重層的支援体制の構築」について、きたかみスタイルの体制はどうあるべきか、アイデアを出し合い共有する。